

令和3年 3月23日

磯打千雅子特命准教授らチーム
第25回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞が決定

本学の磯打千雅子特命准教授（四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）が平成30年7月豪雨で被災した倉敷市真備町の住民有志と共に取り組む活動に対して、消防庁が主催する第25回防災まちづくり大賞消防庁長官賞を受賞することが決定し、2月22日に記者発表がありました。この取り組みには本学の学生も関わっています。

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で25回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施されています。

なお、表彰式典については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施されません。

【受賞内容】

団体名：チームサツキ

事例名称：サツキ PROJECT～西日本豪雨で被災したアパートを地域の防災拠点住宅に再生する～

【概要】

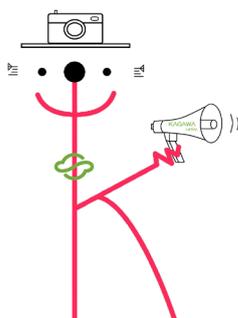
水害に適応した住まい方の実践と普及啓発を目的に、避難機能付き共同住宅の整備・運営を通じて、平成30年7月豪雨の教訓を次世代に伝える活動「サツキ PROJECT」を実施。

被災し放置されたままの賃貸住宅を改修し、周辺地域住民が水害時に逃げ込める避難機能を備えた共同住宅に再生。独自では生活再建が難しい被災した高齢者や障がい者の見守り支援の仕組みや共同住宅内に避難施設として活用できるフリースペースを設置した。

この取り組みは、平成30年7月豪雨災害における倉敷市真備町の死者51名の内、住宅の1階で亡くなった方が41名で、この内22人は2階建てに居住しながらも垂直避難すらできずに亡くなったことに端を発している。

磯打特命准教授は、本研究実施に当たり、クラウドファンディングにより研究資金と社会的関心を集める活動を行い、本学の創造工学部防災・危機管理コース学生と共に水害に適応した住まい方の実践と普及啓発を行っている。

※クラウドファンディングサイト；災害の教訓を次世代に残したい。地域のみんで考える危機管理研究を活かした共同避難住宅「サツキ PROJECT」<https://otsucle.jp/cf/project/2113.html>



➤ お問い合わせ先

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

TEL：087-832-1652 FAX：087-832-1668

isouchi.chikako@kagawa-u.ac.jp

地域強靱化研究センター 磯打（いそうち）